

ナギ

がくめい
学名 Podocarpus nagi

か めい
科名

マキ

べつ めい
別名



く 区 分 木本類

ふん 分 ほんしゅう わかやまけん やまぐちけん しこく きゅうしゅう
本州(和歌山県・山口県)、四国、九州、
おきなわ たいわん 沖縄、台湾

は 葉 の 形 かたち だえんけい らんけい
橢円形、卵形

は 葉 の 縁 ふち せんえん
全縁

は 葉 の 先 さき どんけい
鈍形

は しゅるい
葉の種類

はつきかた
葉の付方

はきぶ
葉の基部

み しゅるい
実の種類

はな がくいろ
花・萼色

たんよう
単葉

たいせい
対生

ぜんせんけい
漸尖形

かくか
核果

みどりいろ めだ
緑色や目立たない色

せつ さんち しきけ はしょ せいいく たか
説明 山地の湿気のある場所に生育し、高さ 20m になる常緑の高木です。樹皮は滑らかで黒褐色をしています。葉は細く縦に側脈があり対生し革質、長い橢円形で長さ 4-8 cm、幅1-3 cmです。花は葉腋から橢円状につきます。実は核果状の球形、径10-15 mmで白緑色になります。人家の庭木等に植えられ、材は家具材や彫刻用に使われています。